

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 大

上場会社名 ヨシコン株式会社

コード番号 5280 URL <http://www.yoshicon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 立志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉田 尚洋

TEL 054-205-6363

四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	7,730	9.1	414	130.2	385	180.2	198	822.8
23年3月期第3四半期	7,087	△0.2	180	538.3	137	—	21	△26.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 217百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 13百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	26.38	—
23年3月期第3四半期	2.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,536	8,340	50.4
23年3月期	15,950	8,232	51.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,338百万円 23年3月期 8,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.50	10.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	11.50	11.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	20.0	1,150	63.2	1,100	71.6	600	62.7	79.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,030,248 株	23年3月期	8,030,248 株
24年3月期3Q	560,180 株	23年3月期	446,484 株
24年3月期3Q	7,533,886 株	23年3月期3Q	7,591,932 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響から全般的に持ち直す動きが見られるものの、長引く欧米諸国の債務問題、新興国の景気減速、更なる円高の進行等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界でも、東日本大震災の影響により、企業活動や個人の消費行動にも変化が生じており、いまだ先行き不透明な状況が続いております。このような経済環境下にあつて、当社グループの不動産事業分野では、常に変化する消費行動を的確に捉え、分譲マンションや分譲宅地などの販売用不動産の売却を進めるとともに、販売物件の早期商品化に取り組んでまいりました。

建設土木業界におきましては、民間・公共工事が減少する中、競合メーカーとの受注競争が一層激化しております。このような状況のもと環境事業分野では、公共工事に依存しない体質への変革を目指し建築用製品の販売を強力に進めるとともに、土木用製品についても、不動産事業分野との連携強化により受注競争の回避を図りつつ、販売価格の引き上げや受注量の確保をすべく活動してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は77億30百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は4億14百万円（前年同四半期比130.2%増）、経常利益は3億85百万円（前年同四半期比180.2%増）、四半期純利益は1億98百万円（前年同四半期比822.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、平成23年8月完成の分譲マンション「エンブルクレア米山町」（沼津市）など在庫分譲マンションの販売引渡しや、静岡市内及び駿東郡清水町内の宅地分譲用地並びに袋井市内の大型商業施設用地の販売引渡しなどが順調に推移いたしました。

この結果、売上高は30億72百万円（前年同四半期比35.9%増）、セグメント利益は3億54百万円（前年同四半期比46.4%増）となりました。

②賃貸・管理事業

比較的安定的に収益が見込める賃貸・管理事業におきましては、新規に取得した三島市の賃貸収益物件や新規オープンした駐車場収入による増収効果と、前連結会計年度中に実施した収益物件売却に伴う賃貸収入の欠落による減収効果、並びに同じく前連結会計年度中に実施したスポットの工事売上が欠落したことによる減収効果により、増減が相殺され前年並みの売上高となりました。利益面では、前連結会計年度に比べ不動産取得税の負担が軽減されたことなどにより増益となりました。

この結果、売上高は7億94百万円（前年同四半期比0.5%減）、セグメント利益は2億62百万円（前年同四半期比45.4%増）となりました。

③環境事業

環境事業におきましては、建築製品へ一部生産シフトを変更するなど、製造ラインの合理化を推進したものの、公共事業の縮減や慎重な設備投資姿勢が継続するなか、自社の土木製品取扱量の減少により損失が増加いたしました。

この結果、売上高は20億82百万円（前年同四半期比12.5%減）、セグメント損失は1億29百万円（前年同四半期は78百万円のセグメント損失）となりました。

④特販事業

特販事業におきましては、住宅用PC部材の受注及び出荷は堅調に推移したことや一部震災での特需を取り込むことができたことに加え、安定稼働により生産効率が上昇し利益率が向上したことなどによりセグメント利益は増益となりました。

この結果、売上高は16億26百万円（前年同四半期比7.2%増）、セグメント利益は1億24百万円（前年同四半期比35.4%増）となりました。

⑤その他

飲食店売上、衣料品販売や保険代理店収入等で、売上高は1億55百万円（前年同四半期比17.4%増）、セグメント利益は38百万円（前年同四半期比30.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は165億36百万円（前連結会計年度比3.7%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したものの、販売用不動産や商品及び製品が増加したことなどにより、110億53百万円（前連結会計年度比8.7%増）となりました。固定資産は、建物及

び構築物の減価償却や土地を販売用不動産に振り替えたことなどにより減少し、54億83百万円（前連結会計年度比5.1%減）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金が減少したものの、短期借入金が増加したため、55億83百万円（前連結会計年度比8.0%増）となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、26億13百万円（前連結会計年度比2.6%増）となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は83億40百万円（前連結会計年度比1.3%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

（自己資本比率）

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は50.4%（前連結会計年度比1.2ポイント減）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、7億33百万円（前年同四半期比7.9%減）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益（3億79百万円）、売上債権の減少（3億32百万円）、減価償却費（1億92百万円）、前受金の増加（98百万円）などによる資金調達に対し、販売用不動産の取得などによるたな卸資産の増加（△17億32百万円）、仕入債務の減少（△6億42百万円）、法人税等の支払（△1億45百万円）などにより支出した結果、営業活動により支出した資金は15億18百万円（前年同四半期は13億34百万円の支出）となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

貸付金の回収（87百万円）などによる資金調達に対し、固定資産の取得（△34百万円）、貸付金の実行（△17百万円）などにより支出した結果、投資活動により得られた資金は32百万円（前年同四半期は1億1百万円の支出）となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増（13億13百万円）や長期借入れによる収入（1億円）による資金調達に対し、長期借入金の返済（△3億25百万円）、配当金の支払（△79百万円）、自己株式の取得（△29百万円）などにより、財務活動により得られた資金は9億73百万円（前年同四半期は13億30百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、環境事業分野では、構造的な公共事業の縮減に伴う土木工事の減少により、厳しい状況が継続するものと考えております。但し、今後も建築用製品の出荷は順調に推移するものと思われま

す。一方、不動産事業分野では、当第3四半期連結会計期間以降での竣工を予定している販売物件の工事は順調に推移しており、予約状況も好調であります。

したがいまして、平成24年3月期の連結業績予想について、現時点では、平成23年11月4日公表の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,546,251	1,033,975
受取手形及び売掛金	1,305,451	976,064
商品及び製品	634,347	911,659
仕掛品	7,249	7,032
原材料及び貯蔵品	40,454	43,117
販売用不動産	6,259,101	7,684,955
未成工事支出金	81,296	84,058
その他	314,722	323,026
貸倒引当金	△16,534	△10,223
流動資産合計	10,172,340	11,053,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,317,446	2,224,180
土地	2,559,918	2,472,525
その他（純額）	213,091	158,880
有形固定資産合計	5,090,456	4,855,587
無形固定資産	50,272	46,391
投資その他の資産		
その他	696,360	622,025
貸倒引当金	△58,478	△40,915
投資その他の資産合計	637,882	581,109
固定資産合計	5,778,611	5,483,087
資産合計	15,950,952	16,536,753
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,394,341	751,767
短期借入金	2,562,800	3,876,500
1年内返済予定の長期借入金	727,260	429,656
未払法人税等	104,142	94,232
賞与引当金	40,472	18,490
役員賞与引当金	22,000	—
その他	319,201	412,525
流動負債合計	5,170,218	5,583,174
固定負債		
長期借入金	1,927,845	2,000,214
資産除去債務	14,126	14,380
その他	606,120	598,744
固定負債合計	2,548,091	2,613,338
負債合計	7,718,310	8,196,512

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,652,065	1,652,065
資本剰余金	1,854,455	1,854,455
利益剰余金	4,914,722	5,033,866
自己株式	△145,969	△175,884
株主資本合計	8,275,273	8,364,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,049	△10,209
繰延ヘッジ損益	△18,396	△16,001
その他の包括利益累計額合計	△44,446	△26,211
少数株主持分	1,814	1,949
純資産合計	8,232,641	8,340,241
負債純資産合計	15,950,952	16,536,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	7,087,451	7,730,641
売上原価	5,768,860	6,151,442
売上総利益	1,318,591	1,579,198
販売費及び一般管理費	1,138,425	1,164,451
営業利益	180,165	414,746
営業外収益		
受取利息	699	372
受取配当金	3,145	3,442
仕入割引	11,901	14,359
貸倒引当金戻入額	—	19,569
保険返戻金	6,989	—
受取手数料	8,548	7,586
その他	20,013	17,146
営業外収益合計	51,297	62,477
営業外費用		
支払利息	72,362	68,627
持分法による投資損失	13,501	20,341
その他	7,873	2,312
営業外費用合計	93,737	91,281
経常利益	137,725	385,942
特別利益		
固定資産売却益	2,615	—
貸倒引当金戻入額	1,671	—
特別利益合計	4,286	—
特別損失		
固定資産除却損	57,471	247
減損損失	—	3,986
投資有価証券評価損	12,137	1,899
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,630	—
特別損失合計	71,239	6,133
税金等調整前四半期純利益	70,772	379,808
法人税、住民税及び事業税	28,817	155,063
法人税等調整額	20,415	25,690
法人税等合計	49,232	180,754
少数株主損益調整前四半期純利益	21,540	199,054
少数株主利益	—	281
四半期純利益	21,540	198,773

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,540	199,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,902	15,839
繰延ヘッジ損益	1,921	2,394
その他の包括利益合計	△7,980	18,234
四半期包括利益	13,559	217,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,559	217,007
少数株主に係る四半期包括利益	—	281

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70,772	379,808
減価償却費	204,534	192,386
減損損失	—	3,986
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,518	△23,873
賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,557	△21,982
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△22,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,539	—
受取利息及び受取配当金	△3,844	△3,815
保険返戻金	△6,989	—
支払利息	72,362	68,627
持分法による投資損益(△は益)	13,501	20,341
固定資産売却損益(△は益)	△2,615	—
固定資産除却損	57,471	247
投資有価証券評価損益(△は益)	12,137	1,899
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,630	—
売上債権の増減額(△は増加)	△183,272	332,121
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,847,152	△1,732,609
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	8,581
仕入債務の増減額(△は減少)	322,178	△642,574
未払金の増減額(△は減少)	77,454	△25,826
未払消費税等の増減額(△は減少)	△51,746	20,823
前受金の増減額(△は減少)	82,174	98,152
預り金の増減額(△は減少)	△4,159	1,050
その他	1,257	36,280
小計	△1,191,804	△1,308,373
利息及び配当金の受取額	3,914	3,839
利息の支払額	△72,377	△68,742
法人税等の支払額	△74,305	△145,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,334,573	△1,518,443
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△112,069	△34,160
固定資産の売却による収入	9,118	—
貸付けによる支出	△30,000	△17,180
貸付金の回収による収入	2,021	87,424
子会社株式の取得による支出	△9,800	△100
子会社の清算による収入	—	8,597
保険積立金の解約による収入	32,669	183
その他	6,335	△12,536
投資活動によるキャッシュ・フロー	△101,725	32,228

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,820,261	1,313,700
長期借入れによる収入	270,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△668,790	△325,235
自己株式の取得による支出	△5,778	△29,914
配当金の支払額	△79,833	△79,501
リース債務の返済による支出	△5,109	△5,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,330,748	973,939
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△105,550	△512,275
現金及び現金同等物の期首残高	902,148	1,246,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	796,597	733,975

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産開発 事業	賃貸・管理 事業	環境事業	特販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,260,171	798,435	2,380,128	1,516,569	6,955,304	132,147	7,087,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	33,000	34,250	—	—	67,250	62,654	129,904
計	2,293,171	832,685	2,380,128	1,516,569	7,022,554	194,801	7,217,356
セグメント利益又は損失 (△)	241,939	180,825	△78,115	92,095	436,745	29,116	465,862

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	436,745
「その他」の区分の利益	29,116
セグメント間取引消去	△35,366
全社費用（注）	△250,329
四半期連結損益計算書の営業利益	180,165

(注) 全社費用は主に、セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	不動産開発 事業	賃貸・管理 事業	環境事業	特販事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,072,093	794,434	2,082,554	1,626,366	7,575,448	155,193	7,730,641
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	34,044	—	—	34,044	86,319	120,364
計	3,072,093	828,478	2,082,554	1,626,366	7,609,492	241,513	7,851,005
セグメント利益又は損失 (△)	354,268	262,986	△129,119	124,676	612,812	38,106	650,918

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	612,812
「その他」の区分の利益	38,106
セグメント間取引消去	△1,087
全社費用（注）	△235,084
四半期連結損益計算書の営業利益	414,746

(注) 全社費用は主に、セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。